



東京理科大学 学長
藤嶋 昭

1967年 世界で初めて「光触媒」を発見した研究者。

今日をステキにする科学者の名言

なぜ空は青いのか。なぜ雲は白いのか。

身の回りは“不思議”であふれています。
普段、当たり前だと思っていることも、
ひとつひとつ関心を持ち始めれば面白いことに気がきます。
——なぜ空は青いのか。なぜ雲は白いのか。

古代ギリシャから現在まで多くの人の好奇心、ひらめき、努力によって
科学技術は進歩し続け、今があります。
今を作った科学者たちの名言を今日まで全38回で紹介しました。

より良い世界をつくるために。
無限に広がる科学の可能性に挑戦しましょう。

<p>vol.1</p> <p>みずから光輝く ロウソクは、 どんな宝石よりも 美しい。</p> <p>マイケル・ファラデー [1791~1867年] イギリスの化学者、物理学者。電気化学に興味を持ち、 電磁誘導の法則を発見。発電機への道を開く。</p>	<p>vol.2</p> <p>人生を大切にしたいなら 時間を無駄に してはいけない。 人生は時間によって できているのだから。</p> <p>ベンジャミン・フランクリン [1706~1790年] アメリカの政治家、物理学者、気象学者。雷が電気 であることを立証し、避雷針を発明。</p>	<p>vol.3</p> <p>今日なしろことだけに 全力をそそげ、 そうすれば明日は 一段の進歩を見るだろう。</p> <p>アイザック・ニュートン [1642~1727年] イギリスの物理学者、数学者。太陽光を分け、虹の 原理を説明。万有引力の法則なども発見。</p>
<p>vol.4</p> <p>多くの言葉で少しを 語るのではなく、 少しの言葉で 多くを語りなさい。</p> <p>ピタゴラス [紀元前582~496年] 古代ギリシャの数学者。自然の原理を数学的思考で 理解。「ピタゴラスの定理」でその名を残す。</p>	<p>vol.5</p> <p>最高の勝利は、 自分を 乗り越えること。</p> <p>プラトン [紀元前427~347年] 古代ギリシャの哲学者、天文学者、生物学、数学、政 治学、哲学などの教育と著作に力を注ぐ。</p>	<p>vol.6</p> <p>一日一日を大切にしまさい。 毎日のわずかな差が、 人生にとって大きな差となって 現れるのですから。</p> <p>ルネ・デカルト [1596~1650年] フランスの哲学者、数学者。平面座標、アルファ ベットによる数式の表記法を発明。</p>
<p>vol.7</p> <p>どこか遠くへ行きなさい。 仕事小さく見えてきて、 もっと全体がよく 眺められるようになります。</p> <p>レオナルド・ダ・ヴィンチ [1452~1519年] イタリアの芸術家・自然科学者、絵画・彫刻・建築・ 人体。その他科学技術に達し、才能を開花。</p>	<p>vol.8</p> <p>独創的なものは、 はじめは少数派に まわっている。</p> <p>湯川秀樹 [1907~1981年] 日本の物理学者。原子核内部における中間子の存在 を理論的に予言。日本人初のノーベル賞受賞者。</p>	<p>vol.9</p> <p>目の前の仕事に 専念せよ。 太陽光も一点に 集めなければ 発火しない。</p> <p>アレクサンダー・グラハム・ベル [1847~1922年] スコットランド生まれのアメリカの科学者。世界初の実 用的な電話を発明。光無線通信分野でも業績を残す。</p>
<p>vol.10</p> <p>雑草という名の 草はない。</p> <p>牧野富太郎 [1862~1957年] 日本の植物学の父と言われる。多数の新種を発見 し命名。近代植物分類学の権威。</p>	<p>vol.11</p> <p>人の価値とは、 その人が得たものではなく、 その人が与えたもので 測られる。</p> <p>アルベルト・アインシュタイン [1879~1955年] ドイツの理論物理学者。特殊相対性理論、光量子 仮説などの重要な論文を発表。</p>	<p>vol.12</p> <p>未来を 考えない者に、 未来はない。</p> <p>ヘンリー・フォード [1863~1947年] アメリカの技術者、実業家。フォード・モーターの創設 者。大量生産方式を開発し、自動車の普及に貢献。</p>
<p>vol.13</p> <p>私に支点を与えよ。 そうすれば地球を 動かしてみせよう。</p> <p>アルキメデス [紀元前287~212年] 古代ギリシャの数学者、物理学者、天文学者。アル キメデスの原理の発見などで知られる。</p>	<p>vol.14</p> <p>天才とは、 1%のひらめきと 99%の努力である。</p> <p>トーマス・エジソン [1847~1931年] アメリカの発明家、起業家。発出した発明家として 知られる。発電から送電まで電気事業化に成功。</p>	<p>vol.15</p> <p>恐れを抱いた心では、 何と小さいことしか できないことでしょう。</p> <p>フロレンス・ナイチンゲール [1820~1910年] アメリカの看護師、衛生統計学者。看護専門家の 養成や適切な療養空間の創造のために尽力。</p>
<p>vol.16</p> <p>どんな真実も、 発見すれば 誰でも簡単に理解できる。 大切なのは、発見することだ。</p> <p>ガリレオ・ガリレイ [1564~1642年] イタリアの天文学者、物理学者、哲学者。木星の「ガ リレオ衛星」の発見や地動説を唱えたことで有名。</p>	<p>vol.17</p> <p>悲しみも、喜びも、 感動も、落胆も、 つねに素直に 味わうことが大事だ。</p> <p>本田宗一郎 [1906~1991年] 日本を代表する実業家、技術者。本田技研工業を 設立。一代で世界的な自動車メーカーに育てた。</p>	<p>vol.18</p> <p>太陽が動くように 見えるのも、 じつはすべて地球が 動いているからである。</p> <p>ニコラス・コペルニクス [1473~1543年] ポーランドの天文学者。「地球中心説(天動説)」を 覆す「太陽中心説(地動説)」を唱えた。</p>
<p>vol.19</p> <p>希望ある未来は、 人の良心の 中だけにある。</p> <p>アルベルト・シュバイツァー [1875~1965年] フランスの医師、哲学者、音楽家。アフリカでの医療 活動に生涯を捧げ、ノーベル平和賞を受賞。</p>	<p>vol.20</p> <p>誰もが見ていながら、 誰も気づかなかった ことに気づく、研究とは そういうものだ。</p> <p>コンラート・ローレンツ [1903~1989年] オーストリアの動物行動学者、医学者。動物行動の観 察から「群れ込み」の現象を発見。</p>	<p>vol.21</p> <p>障子をあけてみよ 外は広いぞ。</p> <p>豊田佐吉 [1867~1930年] 日本の発明家、実業家。日本初の動力織機や自動 織機などを完成させ、欧米でも高い評価を受ける。</p>
<p>vol.22</p> <p>生き残るのは、 最も強い種でも、 最も知的な種でもない。 最も変化に適応できる種が 生き残るのだ。</p> <p>チャールズ・ダーウィン [1809~1882年] イギリスの自然科学者、地質学者、生物学者。「種 の起源」を著し、進化論を提唱。</p>	<p>vol.23</p> <p>現実には 常に公式から はみ出す。</p> <p>アンリ・ファーブル [1823~1915年] フランスの生物学者。昆虫の行動と本能の研究に没 頭。ダーウィンの進化論を鋭く批判したことも知られる。</p>	<p>vol.24</p> <p>いま正しいことも、 数年後には 間違っていることもある。 逆にも間違っていることも、 数年後には正しいこともある。</p> <p>ウィルバー・ライト [1873~1912年] オービル・ライト [1871~1948年] アメリカの発明家、パイロット。機械が飛ぶことは科学的に 不可能と言われた時代に世界初の有人動力飛行に成功。</p>
<p>vol.25</p> <p>無知を恐れるな、 偽りの知識を恐れよ。</p> <p>ブレース・パスカル [1623~1662年] フランスの数学者、物理学者、哲学者。「パスカルの 定理」「パスカルの三角形」などに名を残す。</p>	<p>vol.26</p> <p>一番のルールは、 自分自身を 欺かないことだ。</p> <p>リチャード・ファインマン [1918~1988年] アメリカの物理学者。量子電磁力学の発展に大きく寄 与し、ノーベル物理学賞を永年一振りと共同受賞。</p>	<p>vol.27</p> <p>私は少しも 恐れるところがない。 私はこの世界に、 何事かをなさんかのために 生まれてきたのだ。</p> <p>野口英世 [1876~1928年] 日本の細菌学者。梅毒などの研究を行う。アフリカ で黄熱病の研究中に自らも感染して病没。</p>
<p>vol.28</p> <p>発見のチャンスは、 準備のできた 者だけに微笑む。</p> <p>ルイ・パスツール [1822~1895年] フランスの生化学者、細菌学者。酒石酸の結晶の研 究や狂犬病ワクチンの開発など幅広い業績を残す。</p>	<p>vol.29</p> <p>人は賢明に なればなるほど、 ますます腰を低くして 他人から学ぼうとする。</p> <p>ロジャー・ペーコン [1214~1294年] イギリスの哲学者。「実験」の重要性を説き、数学、 光学や宇宙の規模についても著書で言及している。</p>	<p>vol.30</p> <p>科学は不思議を 殺すものではなく、 不思議を生み出す ものである。</p> <p>寺田實彦 [1878~1935年] 日本の物理学者、随筆家。潮汐の副振動の観測や X線による結晶解析などに業績を残す。</p>
<p>vol.31</p> <p>自然には 何の無駄もない。</p> <p>アリストテレス [紀元前384~322年] 古代ギリシャの哲学者。多岐にわたる自然研究の業 績から、「万学の祖」と称される。</p>	<p>vol.32</p> <p>行動がすべてだ。 栄誉に価値はない。</p> <p>ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ [1749~1832年] ドイツの詩人、自然科学者、政治家。自然科学研究で「形態 学」を提唱。地質学、気象学、光学の研究にも力を注いだ。</p>	<p>vol.33</p> <p>自分には、 自分に与えられた道がある。 心を定め、希望を持って歩むならば、 必ず道は開けてくる。 深い喜びも、そこから生まれてくる。</p> <p>松下幸之助 [1894~1989年] 日本の実業家。電球ソケットの製造販売で松下電器産 業(現パナソニック)を創業。「経営の神様」と称される。</p>
<p>vol.34</p> <p>狭くとも、深くあれ。</p> <p>カール・フリードリヒ・ガウス [1777~1855年] ドイツの数学者、天文学者、物理学者。19歳で正17角 形の作図法を発見するなど幅広い分野で業績を残す。</p>	<p>vol.35</p> <p>希望は人を 成功に導く 信仰である。</p> <p>マリー・キュリー [1867~1934年] ポーランド生まれの物理学者、化学者。放射能の研 究に従事し、ノーベル物理学賞・化学賞を受賞。</p>	<p>vol.36</p> <p>考えはしなかった。 ひたすら実験を 繰り返したのです。</p> <p>ヴェルヘルム・レントゲン [1845~1923年] ドイツの物理学者。実験中に偶然、放射線(X線)を 発見し第1回ノーベル物理学賞を受賞。</p>
<p>vol.37</p> <p>決して降参するな。</p> <p>ロベルト・コッホ [1843~1910年] ドイツの細菌学者、医学者。結核菌をはじめ、さまざまな 病原菌を発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞。</p>	<p>vol.38</p> <p>産業は、 学問の道場なり。</p> <p>本多光太郎 [1870~1954年] 日本の物理学者。日本の磁性材料研究の基礎を築 いた。東京理科大学の初代学長。</p>	